

■ アクセシビリティ・ガイドラインにおける記載

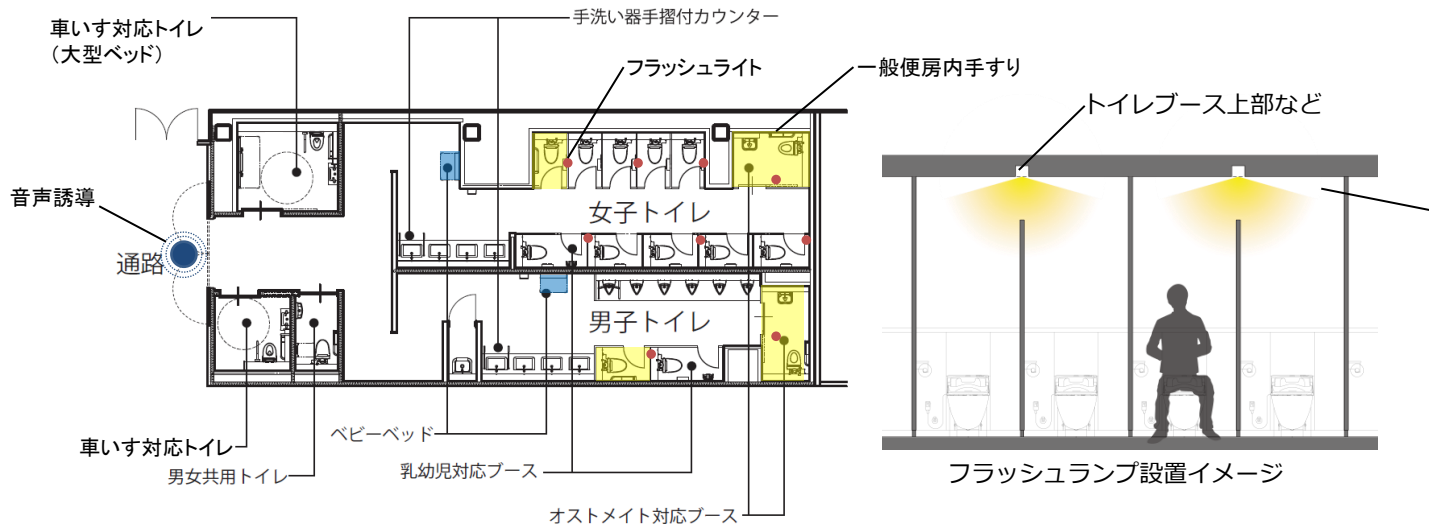
「手すり、車いす転回スペース、オストメイト用設備、ベビーチェア、ベビーベッドなどは、利用用途に応じた適切な数を設置」
 「便座の高さは仕上がり床面から400～450mm程度」
 「緊急事態の情報を音声及び光によって提供できる設備を備えることが望ましい」

■ 第一、二回WSにおける意見

「（一般便房の）1カ所だけが手すり付きというのは少ない」
 「男女共用トイレは、カーテン等の仕切りによりプライバシーが確保できる工夫を」
 「災害の時、避難誘導ができる方法が必要。トイレの個室にいる時でも分かるように」

■ トイレの設備、仕様の考え方（トイレ内設備等の配置）

- 手すり付一般便房を、入り口付近や広めの便房に複数設置
- ベビーベッドを、洗面台周辺にもなるべく設置
- 便房に、フラッシュランプを設置。（便房内でその点滅が十分識別できるよう配置）
- 音声誘導装置を、一般トイレ出入口に配置。
- 各フロアー箇所以上の車いす対応トイレに、オストメイト用設備（温水付）を設置



フラッシュランプ設置イメージ

フラッシュランプの例

トイレ内設備等の配置イメージ

① トイレの設備、仕様（各便房の仕様、寸法）の考え方

■ トイレの設備、仕様の考え方（各便房の仕様、寸法）

- ・ 便座高さ：全ての便房で420mm程度
 - ・ カーテン：共用部の車いす対応トイレ・男女共用トイレに設置
 - ・ 呼び出しボタン：共用部の車いす対応トイレに設置
- ※操作部（便器洗浄ボタン、呼び出しボタン）、紙巻器の配置及び寸法は、公共トイレJIS配列（JIS S 0026）に則る
- ※この他、アクセシビリティ・ガイドライン、バリアフリー法に定めのある項目は、その数値基準を遵守

共用部分のトイレ

車いす対応トイレ

背もたれ
呼出ボタン
L型手すり
便器洗浄ボタン
紙巻器

700
650
1,000
390
190
420程度
1,250
700
2,000以上

呼出ボタン

床面上部

<車いすトイレ 展開図>

2,000以上
350
120
1,200程度
1,500
950以上
可動手すり
(跳ね上げ)

カーテン

背もたれ
紙巻器
L型手すり

<車いすトイレ>

※大型ベッドを設ける場合は、出入口を塞がないよう留意

男女共用トイレ

L型手すり
便器洗浄ボタン
紙巻器

700
650
1,000
390
190
420程度
1,250
600
1,600以上

床面上部

<男女共用トイレ 展開図>

紙巻器
L型手すり
1,600以上
1,000程度
1,500程度
650以上
カーテン
折畳み椅子

<男女共用トイレ>

男女別トイレ内などのトイレ

手すり付便房

L型手すり
便器洗浄ボタン
紙巻器

700
650
1,000
390
190
420程度
1,250
600
1,300

床面上部

<手すり付便房 展開図>

便器
紙巻器
L型手すり
1,300以上
700程度
600程度

<手すり付便房>

オストメイト対応便房

紙巻器
L型手すり
汚物流し

2,000以上
1,000以上
350
120
650以上

<オストメイト対応便房 展開図>

紙巻器
乳児用いす
1,400以上
800程度
650以上
着替え台
乳幼児用ベッド
着替え台
1,300以上
700程度
600以上

<オストメイト対応便房>

乳幼児対応便房

紙巻器
乳児用いす
1,400以上
800程度
650以上
着替え台
乳幼児用ベッド
着替え台
1,300以上
700程度
600以上

<乳幼児対応便房 展開図>

※設ける機能は、施設特性に応じて計画

■アクセシビリティ・ガイドラインにおける記載

「付加（エンハンスド）アメニティ座席は、車いすを使用していないが、歩行困難である場合や補助犬ユーザー、足腰・長身・横幅が広い等何らかの理由で配慮された席が必要な人のための席を設置する。」

「階段部の安全な昇降に配慮して、階段沿いの座席に手がかりを設けることが望ましい」

■第一、二回WSにおける意見

「食べ物や飲み物を置く場所はどうなっているか、飲みづらくて困った経験がある」

「階段の傾斜が急で怖く感じる場所も実際にあるので、配慮してほしい」

■観客席の詳細仕様の考え方

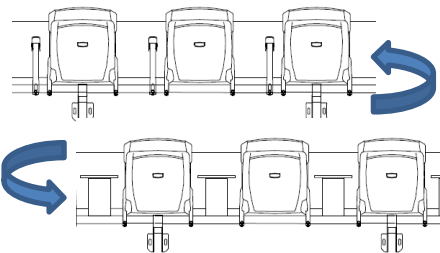
○アクセスしやすい場所に分散して用意する付加アメニティ席の、席仕様や備品を工夫し、幅広い利用者に対応

○観客席縦通路に、原則として手すりを設置（通路幅員が確保できない場合等を除く）。

○電動車いす用コンセントを、各サイド（面）の車いす席・同伴者席うちの一箇所程度に設置。

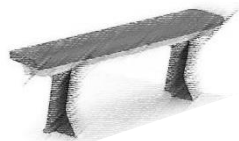
【付加アメニティ席】

（備品を組み合わせる例）



席間に肘掛・テーブル

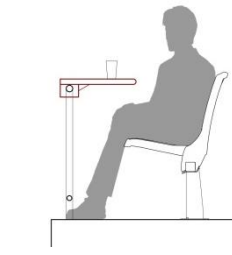
（席仕様の工夫の例）



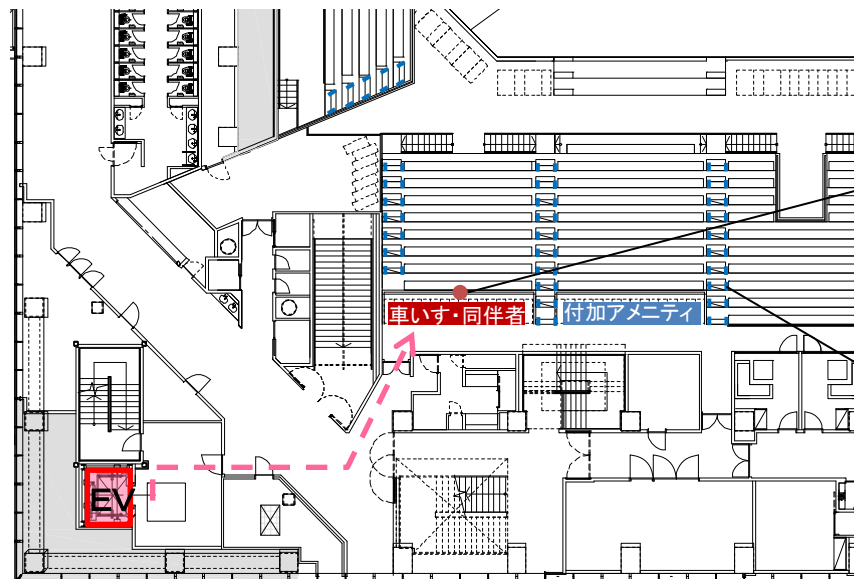
ベンチ型



幅広型



手すり掛けテーブル



【車いす席】



充電用コンセント

【縦通路】



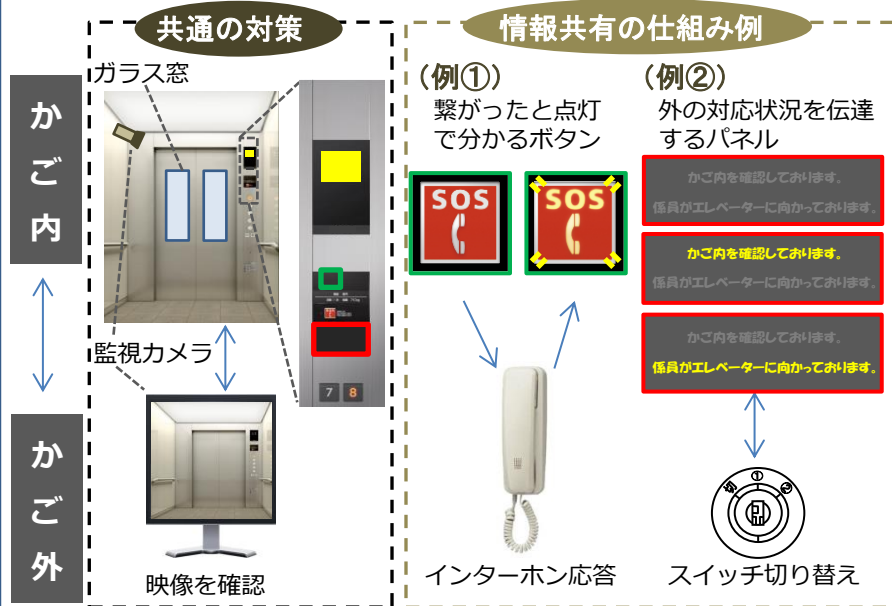
縦通路手すり

エレベーター閉じ込め対策

- アクセシビリティ・ガイドラインにおける記載
「緊急時に聴覚障がい者が外部と連絡を取ることが可能なボタンやモニターを設置することが望ましい」
- 第一、二回WSにおける意見
「地震等で聴覚障がい者が閉じ込められた場合、インターホンで連絡ができない」

■ エレベーター閉じ込め対策の考え方

- 扉にガラス窓を設置（防火上困難な場合等を除く）
- 監視カメラを設け、外部から映像を確認
- かご内外で情報共有できる仕組みを導入（下図例）



案内誘導設備

- アクセシビリティ・ガイドラインにおける記載
「表示サインとあわせ、音声案内や音響案内を設置する」
- 第一、二回WSにおける意見
「音声案内や文字による案内等の設備を、視聴覚障がい者にも分かりやすく利用できるように整備してほしい」

■ 案内誘導設備の考え方

- 音声案内を、建物出入口、一般トイレ出入口に設置
簡潔な案内に留意（日本語のみ、通信式を適宜採用等）
- 非常時用の誘導音・点滅装置付き誘導灯を、各階の階段出口等と建物出口に設置

